

# 生産性向上支援訓練活用事例



生産性向上支援訓練を実施した「名岐合成 株式会社」様の取組を紹介します。

- ・所在地 愛知県一宮市
- ・従業員数 75名
- ・事業内容 樹脂射出成形・加飾・組付及び電気設備関連の組立



## 1. 支援の概要

### ●相談の契機

従業員数も増加し、今後の会社運営を考えるにあたり慣例化された社内環境の見直しと従業員のスキルアップ及び労務環境の価値観、組織構築等の人材育成のプログラムを検討していた。

### ●事業主の課題・要望

- ・慣例化された社内環境の見直しや従業員個々のスキルアップをはかりたい。
- ・価値観や組織のベクトルの修正、構築をはかりたい。
- ・主体性や自発性を生み出す環境、個々の能力が原動力となる組織を作り上げたい。
- ・反復と継続を習慣化出来るように、業務に興味を持ち意見を発言出来る組織としたい。

### ●機構からの提案内容

令和元年度は、品質管理のカリキュラムを受講したいというご希望から、基本と実践の2コースのカリキュラムについて提案をさせて頂きました。

令和2年度よりさらに従業員様のスキルアップをはかるため段階を踏んで様々なコースの受講の検討をお願いさせて頂きました。

結果的には、一企業様で受講を頂ける上限数の6コースを受講して頂く事となりました。

(受講コース名)

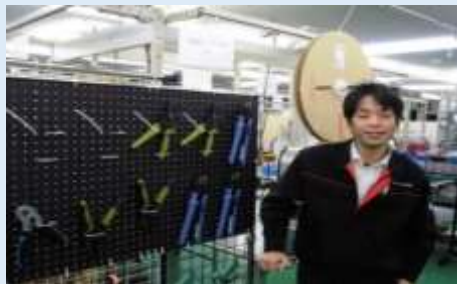
- ・生産性向上のための課題とラインバランス
- ・生産計画と工程管理
- ・原価管理とコストダウン
- ・組織力強化のための管理
- ・業務効率向上のための時間管理
- ・職場のリーダーに求められる統率力の向上

## 2. 事業主の声

まずは短期間で、合理化の流れをつくり企業文化の選択を行い、意見や立案により自発性が生み出せる環境を作りたい。現在、コロナ禍で管理者ミーティングも中々開催をしていない状況下ですが、今後は、小ミーティングや管理者のミーティングにて基礎から考え直して、全員発信型になるようにステップアップをしたいと考えています。

今後の抱負としては、各チームごとに組織として機能するように、責任と決裁権限を適正範囲で依存し、結果に自らが責任を持ち拘りを持った仕事ができる組織としたい。

また、仕事に対して興味を持ち、自分で調べ、自分の意見を持ち発言し、部下の意見や同僚・上司の意見も良く聴いて行動をし成長をして貰いたい。



代表取締役 青山様



取締役専取務 服部様

事業主アンケートにて高い評価をいただきました。

## 3. 受講者の声

最初は、敷居が高く難しいものと拒否感しかありませんでしたが、それぞれの講習が親切、丁寧であったので良かった。

社員(部下)との接し方についても何も意識していなかった事もあり、信頼に関わる大事なことに気づかされ、実務以外にも学ぶ事を怠らない事を実感した。

特化したことに対する勉強ができ、実践でどの様に活用すべきなのか教えて頂いた。「原価管理とコストダウン」では、原価管理の目的を明確に知れた事と、限界利益分析の仕方を細かく解り易く知れた事が、会社の求める大きな部分として勉強ができた。

生産管理については、司令塔として現場を知る事、必要な改善を行う事が重要である事も理解できた。習慣化する難しさ、どの様にしていけば習慣化出来るのかを知れた事が大変有難かった。

今回の講習で、色々な先生から学ばせて頂きました。実践で知る、現場で考える、考えを書かせてアウトプットする、ディスカッションで相手の考えを聴き、求めている事との相違を確認する等、部下を教育するための手法として取り入れていきます。



受講者代表 川口様

受講者アンケートにて満足度の高い評価をいただきました。